

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、世界情勢の変化がこれまで以上に速く、また複雑化した一年となりました。国際的な物流の混乱、原材料価格の高騰、各国情勢に伴う経済の不確実性は、私たち眼鏡業界においても例外ではありませんでした。こうした外部環境の揺らぎは、企業に「柔軟性」や「備え」、そして「本質的な価値の提供」を強く求めています。

国内においても、政治の転換期が続く中で、社会保障・働き方・地域経済に関わる議論が深まり、私たちの事業を取り巻く土台そのものが少しずつ変化しつつあります。人口構造の変化に加え、消費者の価値観はより健康志向・安全志向へと移り、視界の質や快適性を重視する声がいっそう大きくなってまいりました。

このような環境の中で、私たちは「視界に関わるすべての方々に、確かな価値をお届けする」という原点に立ち返ることの重要性を痛感しております。変化が続くほど、求められるのは“信頼”と“誠実さ”です。どれほど技術が進化しても、どれほど市場が変わっても、最後を選んでいただく理由は、誠実な商品づくりと、安定した供給、そして人と人とのつながりにほかなりません。皆様から頂くご意見やご要望が私たちの原動力でありました。この場をお借りし、改めて心より感謝申し上げます。

2026年もまた、世界の動きは予測が難しく、国内の制度・社会構造も変化の最中にあります。だからこそ私たちは、より一層の研鑽を重ね、技術・品質・サービスのいずれにおいても“お取引先様の安心につながる会社”であり続ける覚悟です。

変化に流されるのではなく、変化の中でも揺るがない価値をつくり続ける——その姿勢こそが、御会社としての社会的責任であると考えております。

本年も、皆様に信頼いただけるパートナーとして、社員一同、誠心誠意努めてまいります。どうか引き続き変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げますとともに皆様のご健勝とご発展をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

2026年1月吉日

株式会社ティーエスエル

代表取締役社長

小田和浩